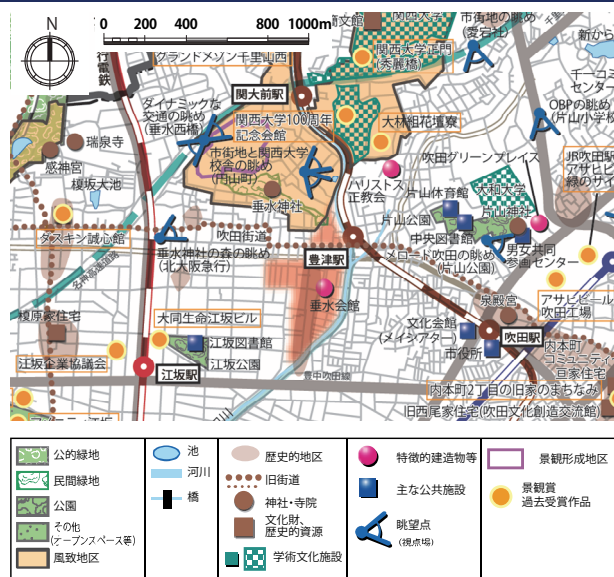
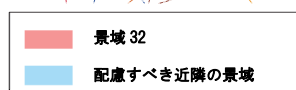
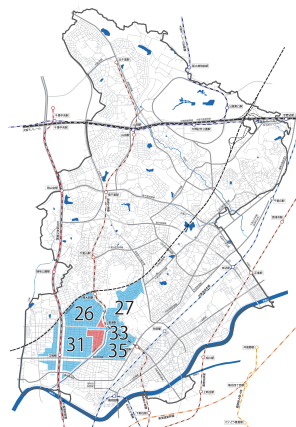


景域 32 垂水町2丁目界限



● すいた市民環境会議の活動・・・市全域

糸田川沿いの開放的なまちなみと、細く入り組んだ路地のある住宅地

地形

平坦な地形が広がっており、糸田川沿いには見通しの良い景観が広がっています。

歴史

まじなわて
雉子噺の碑が建てられており、その道路には、雉子鳴き道と愛称が付けられ、古くからの言い伝えが残る歴史ある集落の面影が残るまちです。「噺」とあるように、もともとは水田が広がる地域でしたが、戦後に宅地化が進みました。

土地利用

川沿いには集合住宅が建ち並び、また、細い路地沿いには昔ながらの戸建住宅が建ち並ぶ土地利用となっています。

都市活動・暮らし

糸田川の堤防には遊歩道が整備され、日常的に散歩やジョギングをする人の姿がみられ、ゆったりとした時間を過ごしています。



雉子鳴き道



糸田川沿いの遊歩道

潤いと安らぎが感じられる身近な水辺空間と、落ち着いたある住宅地景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 屋根の形態や色彩の誘導、緑化などにより、歴史あるまちの風情の保全に努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 各施設のオープンスペースを活かす、あるいは公共空間との一体化などにより、ゆとりある景観の形成を図る。
- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 街路樹により潤いを高め、舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 阪急千里線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 26, 27, 31, 33, 35